
名前の無い小説群 2 0 0

のみのみの

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

名前の無い小説群200

【Nコード】

N6825M

【作者名】

のみのみの

【あらすじ】

『名前の無い小説群』の話の拡張パック。一話200字としました。『名前の無い小説群』を先に読むもよし。これを読んでから『名前の無い小説群』を読むもよし。お好きにどうぞ。お題配布サイト「はちみつトースト（管理人：小林夏樹様、<http://honeytoast.web.fc2.com/>）」掲載のお題で作らせていただいています。

0001 相容れない存在

「相容れない仲っていうのは、あれだ。ほら、同じ大きさの立方体の箱が重ねられないのと同じことだよ」

「それ、私に喧嘩売ってんの？」

「違うよ」。ただ、このままだと彼があまりにも理不尽でしょ」

「別にあんなやつ、どうでもいいよ」

「そうは見えないけどな」

「どう見えるって言うのよ」

「んゝ、恋人」

「ないない。ありえないって」

「じゃあ何でいつも会いに行くの？」

「会いに行くわけないでしょ。たまたまアイツがいるのよ」

0002私のおきを見せてあげる

屋敷の中でも特に古い蔵。

数ヶ月前に鍵がかかっていたことに気付いて、それから度々中にある骨董品を眺めていたのだが、最近はこの大きな壺ばかり見ていた。

不思議な魅力があり、沢山の人に知ってもらわないといけないうと思った。

そしてついに壺を学校に持っていったのだが、なぜか教卓の上においた途端に崩れてしまった。

欠片を全部集めて組み立て元に戻したのだが、うまく出来ただろうか。

お父様にバレていなければいいのだが。

0003 未来を切り開く

「でもさ、もしもだよ」

「うん？」

「もしも未来を知ることができたら、それを変えようと思うのかな」
「思うと思う」

「そっか」

「でも、それは必要条件。切り開く方法がないと十分じゃない」

「ん〜……そこは気合いだああああー！！！！」

「……………」

「どお根っ性おおおおー！！！！」

「……………」

「燃える闘お魂おおおおーん！！！！」

「……………」

「何か言ってよ。……沈黙が痛い」

「闘お魂、じゃなくて、闘う魂」

「……………」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6825m/>

名前の無い小説群 2 0 0

2010年10月15日08時17分発行